
～今注目を集める「海の次世代モビリティ」～

新たな利活用技術を神戸の海で実証実験します！

いわゆる“海のドローン”とも呼ばれる ROV（遠隔操作型無人潜水機）を使用した、画期的な新技術の実証実験を神戸の海で行います。報道関係者の皆様向けに実証実験の様子を公開いたしますので、ご多忙中誠に恐縮ですが、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

1. 日時

令和4年12月16日（金曜）11時～12時

2. 場所

神戸市中央区波止場町5「ルミナス神戸2」停泊地

3. 内容

日本最大のレストランクルーズ船「ルミナス神戸2」の船底を走行する ROV や音響システムの様子を実際にご覧いただけます。



ROV（いわゆる「海のドローン」）

4. 実証のポイント

現在、海の浮体構造物の水中部分や船底に対する調査・検査（以下、調査等）は、一般的に潜水土による作業やドッグに入れることで行わなければならない、効率性や安全性の観点から、ROVの活用が期待されています。

しかし、水中や船底を走行するROVは位置を正確に求めにくいことから、信頼性の高い調査等ができないことが大きな課題となっています。

そこで、ROVの正確な位置を計測する高精度の装置を実現する音響システムを、国土交通省「海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」として、（株）ディープ・リッジ・テクと神戸市が共同で実証します。



実証場所（ルミナス神戸2）

本実証により技術の有用性が示され、ROVによる効率的で安全な高精度の調査等の社会実装が進み、海の次世代モビリティの新たな利活用技術として確立することが期待されます。

5. 取材方法

取材を希望される方は、令和4年12月15日（木曜）15時までに、メール本文に【貴社名・ご所属・ご担当者様のお名前・同行者様のお名前・ご連絡先（電話番号とメールアドレス）】を記載のうえ、メールにてご送付ください。

Email : ocean@office.city.kobe.lg.jp（担当：宮川、大谷）

※当日は、新型コロナウイルス感染症対策のため、最小限の人数での取材をお願いします。

※当日は、腕章の着用や感染症防止対策としてのマスク着用等のご協力をお願いします。

※ルミナス神戸2 停泊地までのアクセス方法は以下の通りです。

- ・地下鉄海岸線「みなと元町」駅から徒歩約10分
- ・連節バス・ポートループ「ポートタワー前」バス停から徒歩すぐ



6. 参考（実証の経緯）

神戸市では、海洋産業の振興を目指し、関係団体や企業等とのネットワーク構築や次世代の人材育成、最新情報の収集・発信等様々な事業を展開しています。

その取り組みの中で、国土交通省が海の次世代モビリティの技術・知見の実装等を推進する「海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」に、神戸市と(株)ディープ・リッジ・テクの共同提案「高精度音響位置決め技術を基盤としたROVによる浮体構造物や船の水中部分の調査・検査の実現」が採択され、令和4年12月13日（火曜）～12月16日（金曜）に神戸の海で実証実験を行うこととなりました。

いわゆる“海のドローン”とも呼ばれるROVやAUV（自律型無人潜水機）といった「海の次世代モビリティ」は、近年、海洋土木建築、インフラ・設備点検、水産業など、様々な分野で利活用が期待されており、神戸市としても2020年度に策定した10年間のロードマップで重点的に取り組むテーマ（海洋ロボット）として位置付けていることから、今回の共同提案に至りました。

●国土交通省「海の次世代モビリティの利活用に関する実証事業」

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/ocean_policy/sosei_ocean_fr_000015.html

●株式会社ディープ・リッジ・テク

代表取締役：浦 環（東京大学名誉教授）

本社：長崎県五島市長手町 182 番地 1

事業内容：

- ・自律型海中ロボットによる海洋および海底の調査、観測
- ・深海や海底、水中での調査、研究、撮影やそれらの企画、コンサルティング
- ・海洋調査、水中作業、潜水のためのロボットの設計、製造
- ・海洋、海底での作業、施工およびエンジニアリング、コンサルタント業務
- ・講演、セミナー、シンポジウムの開催
- ・海に関する情報の普及と人材育成
- ・環境汚染の改善